

《大月市—地域づくり検討フロー》

グループ1

第6次総合計画

《将来像》

「郷土に愛着と誇りを持ち、豊かな自然の恵みを生かし、一人ひとりにやさしく、安全で安心して、健康で住み続けることのできる活力あるまち」

社会動向

- 少子・高齢化から人口減少社会へ
結婚や子育てがしやすい環境づくり、高齢者の生きがいや介護対策など、安心できる高齢社会対策
- 価値観の多様化へ
職業や生き方、家族形態の多様化、職業・結婚・生活様式などでの選択や自由度の拡大
- 共同体や生活単位の再構築へ
地縁型コミュニティから新しい共同体づくりに向けた検討
- 地域間の競争の時代へ
ふるさと納税、特区の推進など独自の地域づくりによる地域間競争
- 安全・安心重視へ
自然災害に対する防災体制、防犯や交通安全など生活安全対策の強化
- 循環型の環境社会へ
廃棄物対策の強化、リユース、リサイクルを基本の資源循環型社会の構築、自然環境の保全・継承
- 高速交通ネットワーク化とグローバル化社会へ
東京五輪、リニア整備、高速道の延伸など意思に関わらず、様々な分野での国内外の人々との交流機会の拡大、社会動向の日常生活への影響
- 情報・物流のネットワーク社会へ
行動圏の拡大の一方、家にいながらの買い物や消費行動など情報やモノの移動性の高まり
- 新しい助け合いや社会保障の視点の構築へ
行動圏の拡大や情報通信などの利便性の向上の一方、交通弱者や情報弱者、経済的な格差など従来の社会保障の視点の見直し

市民アンケートから

- 地域活動や行事への参加は
「している」66%、「していない」27%
- 市の将来人口については
「増加意向」66%、「現状維持」23%
「減少もやむなし」8.3%
- 産業の取り組みは
「優良企業の誘致」41%
「大型店舗の誘致」23%
「入浴等保養施設の整備」20%
「工業地の整備」20%など
- 広報大月を
「毎月読む」人は61%
「ホームページを見ている」人は23%
- 市の情報が充分伝達されていると
「思う」12%、「思わない」31%
- 今後、重視すべきキーワードは、
「福祉」26%、「自然」26%、「活気」25%
「子育て」17%、「定住」17%、「環境」16%
「産業」15%など
- 市の住良さについては
「住みよい(肯定派)」32%
「住みにくい(否定派)」38%
- 今後の居住意向は
「市内居住意向」69%
「市外への転出意向」29%

①地域の現況(10年間で良くなったところ)

1. **福祉・保健の充実**
 - 障害者・高齢者施設の増加
 - 大月市立中央病院の改修
2. **都市整備の進展**
 - 猿橋小学校、大月短期大学の校舎新設
 - 大月バイパスの整備
 - 駅周辺のトイレ整備
 - バイオマス発電所の建設
3. **産業・観光の振興**
 - 地域おこし協力隊の活動
 - 行政と市民が共同して行うイベント(かがり火祭り、軽トラ市など)の増加
4. **行政の効率化**
 - 行政のスリム化
 - 小中学校の統廃合による財政の改善
5. **地域活動の活性化**
 - 地域のコミュニティ活動の活性化

①地域の現況(10年間で悪くなったところ)

1. **福祉・保健面の問題点**
 - グループホームや就労者支援施設の施設数・定員数の不足
 - 中央病院の人材不足
 - 他市の病院との連携不足
2. **都市整備上の問題点**
 - 大月駅、猿橋駅前の自転車置き場不足
 - ソーラー発電施設建設による景観の悪化
 - トイレの整備不足
 - バイオマス発電所の建設
3. **人口減少による悪影響**
 - 大月短大附属高校の廃校
 - 地域リーダーの不足
4. **産業・観光面の問題点**
 - 富士山ツアー客の誘致不足
 - 商店街の後継者不足
 - 鳥獣被害による農業の衰退
5. **その他**
 - 大月市の将来に対するビジョンがない
 - 振り込め詐欺が増えた

②地域の資源と可能性

1. 豊かな自然

- 市の面積の80%を占める森林
- 修験道の山(岩殿山と菊花山)
- 厄王山
- 地層から出る化石
- きれいな富士山をインターネットで配信する

2. 子育て・教育環境

- 「大月で子育て」というキーワードで教育を充実させる
- 大月短大に森林専門学科を設置する

3. 他に誇れる文化

- 大月桃太郎伝説
- 笹子追分人形
- 駒橋発電所や葛野川発電所
- 矢立の杉
- 旧甲州街道(花咲本陣、初狩本陣、笹子本陣、宿場)
- 長応寺の秦琴コンサート
- 名勝猿橋
- 真蔵院

4. 交通・立地

- 交通の要所である(中央自動車道、国道20号、139号、JR線、富士急行線)
- 東京に近い

5. 産業・観光に活かせる資源

- 宿泊や入浴の施設、登山者が休憩可能な店、プール等を作る
- 大月駅で降りてもらえるよう大月の観光名所をPRする
- 大月を「大きく付く」と解釈して、大付神社を作り名所とする
- ハイキングコース設置など、自然・歴史と健康を合わせた取り組みを行う
- 大月駅から桂川渓谷までの遊歩道を作る
- 岩殿山にロープウェイを設置する
- 大月音頭を作る
- 木製の「大月」名産品を作る
- 大月の知名度を活かす
- 織物産業がある

6. 都市整備

- 廃校や休耕地の活用
- 道の駅の設置

7. 人材

- 大月市出身の有名な落語家がいる
- 大月市在住の芸術家や文化人がある
- リーダーを育成する

③地域課題

1. 福祉・保健の充実

- グループホームや福祉作業所など、高齢者や障がい者が利用できる場所を充実させる
- 働く人が安心して預けられる託児所を作る
- 高齢者、障がい者の見守り充実
- 予防医学や遠隔医療に取り組む
- 大月市立中央病院の専門性を高める

2. 教育の充実

- 学科新設など大月短大の活性化
- 地元に関わる教育の実施
- 教育の一環としての小中学生の森林整備体験

3. 産業・観光の振興

- 大月産材を使った特産物開発
- 地場産業の振興
- 農業機械を貸し出す仕組みを作る
- 農業の高収益化
- 岩殿山にロープウェイ、売店、公園の設置
- 観光用コミュニティバスの運行
- 道の駅の設置
- JR駅周辺のトイレや入浴施設、みやげ物屋の充実

4. 空家・空き店舗等の活用

- 空家・廃校・休耕地(市民農園化)・空き店舗の活用
- 短大生による空き店舗活用

5. 都市整備の推進

- 中央病院へのアクセス向上
- 交通量の多い道の道路整備
- 観光バスに対応した大型駐車場の整備
- 橋から先のバイパスの整備
- 大月駅北側の活用

6. 森林の整備

- 森林整備の仕組み作りを市が率先して行う
- 森林整備について、短大との連携も模索する

7. 住みやすいまちづくり

- 人が住みやすく、集まりやすいまちを作る
- 人々の交流を重視する
- 防犯カメラの設置や防災用ドローンを配備する

④今後10年間の重点取り組み

1. 高齢者と障がい者にやさしいまちづくり

- 福祉作業所の定員を増やす
- 市外の企業からも、福祉作業所で行う仕事を確保する
- 福祉作業所で特色ある織物を作り、特産品にするなど、作業所の自立運営を目指す
- 車の運転ができなくなっても暮らしやすいまちを目指す
- 老後の福祉を手厚くして移住してもらえらるまちをつくる

2. 立ち寄りたくなるまちづくり

- 県外から富士山への観光客を大月市に滞留させる

3. 大月ならではの地域資源を活用したまちづくり

- 織物と木工品を合わせるなど、大月ならではの特色ある特産品をつくる
- 地場産業を活性化し、高齢者や障がい者の生きがいづくりにつなげる
- 道の駅を設置し、地場産業製品を販売する

4. 地域に密着した教育と人材育成

- 大月短大の活性化を図る
- 大月に住み続けたいと思えるようなふるさと教育を行う

●他グループの視点を参考に追加した項目

- 暮らしやすいまちづくり
- 例：災害、安全対策、病院に通いやすい、買い物に行きやすい
- 子育て、障がい者、高齢者
- 観光→商業、産業の発展
- 立ち寄りたくなるまちづくり
- 安全、災害に強いまち
- 市民と行政の「信頼」

⑤地域づくりの方向性(キーワード)

未来、人、自然、暮らしやすい、やさしい、実現、共演、協演、
みんなで、明日、輝く、共に、明るい、思い、想い、つなぐ、
生かした、活力、希望、やすらぎのまち、住み続けたい、いきいき、
地域を支える、安心・安全、市民全体



⑥大月の将来像(テーマ)

人と自然をいかし、
希望のもてる未来をみんなを実現するまち大月